

40代の女性である。久し振りに来院した。かなり忙しく、ストレスを感じる事が多い生活が続いていたようであるが、やっと最近、落ち着いたと言う。半年前から頭痛が続き、この春からは円形脱毛症となった。胃腸が弱く、朝食を食べると痛くなるので、最近は食べていないと言う。便通も悪く、2日に1回。腰にも違和感がある。

頭を触ると、ザワザワした熱感がある。上腹部・下腹部ともに固まっている。背は全体に凝っている。腰は虚し固くなっていて、多くの場合よりその範囲が広い。

仰向けに寝てもらい、手足から特に異常を感じる部分に通じる経脈に鍼をして、正常化を促す。座位で肩・首を軽く鍼した後、うつ伏せになってもらう。背全体に凝っているところに鍼した後、足首の崑崙に鍼を刺して置き鍼し、気を流しながら、腰部の虚したツボ6点に線香灸を各点30秒程施した。患者はお腹が温まると喜んでいて。ガチッと固まっていた腰部に軟らかみを感じられるようになった。気を流した状態で、背の上・中部の実の凝りには更に瀉法の指鍼(手で凝りをコリコリとやや痛むぐらいで按じる)を施す。それで患者はその凝りの強さを自覚できた。痛(いた)気持ち良い感じで凝りは緩むがまだまだである。仰向けに戻ってもらって、お腹を診ると緩んでおり、また緊張していた右手の脈が緩んでいる。頭のザワザワした熱も収まっている。

週1回のペースで治療に来てもらった。3回目の時には、頭には痛みがなく、多少、違和感がある程度となり、食欲が出てきて朝食を少し食べられるようになっていた。また、中止していた畑仕事も再開したと言う。

6回目の時には髪が生え始めており、7回目

には「元気になって、子供を遊びに連れていけるようになった」と喜んでいて。

その後、数回、週1回の治療をした。右手指のしびれに右肩甲骨外側の凝りを鍼して治し、右下歯の腫れに刺絡(少し血を出す鍼)で治した。その後は、隔週での治療で体調を整えることになった。

脱毛症だからといっても、今回は全く頭には鍼をしなかった。からだ内部からの虚気(働かない気)の頭への上衝が問題であり、それが他方では頭痛をもたらししていた。正常な気が巡って組織・臓器は正常に働く。気が巡らなければ、血液は十分に巡らず、組織・臓器は栄養不足になる。毛根は毛を育まず、脳は頭痛する。治療によって、全身の気が調節に流れるようになり、虚気の上衝はなくなった。脳は栄養不足にならないから、頭痛は起こさず、毛根は栄養を受けて毛髪を育み始めた。

この患者の場合、そして多くの場合、脱毛症や頭痛は病の枝葉末節であって、病の根幹である体幹部の異常を正常化すれば、自ずと治る。ただ余りに慢性化して、部分的な組織のダメージが大きい場合には難しい。

西洋医学はより細かく観ようとしていて、総合的な病態が反って観られなくなっている。細かく観て、それを結び付けて全体を観るというやり方では抜け落ちる現象が出てくる。MRIなどで鮮明な異常部分の画像が見られたとしても、気という現象は写っていない。気は職人的な五感によって感じられる、総合的な物理現象であって、機械では捉えられない。

私は気とその周辺の現象を捉えて治療する「(気)的現象学による医学」を提唱している。

(2016年9月秋分)